

大口町 コミュニティバス路線図



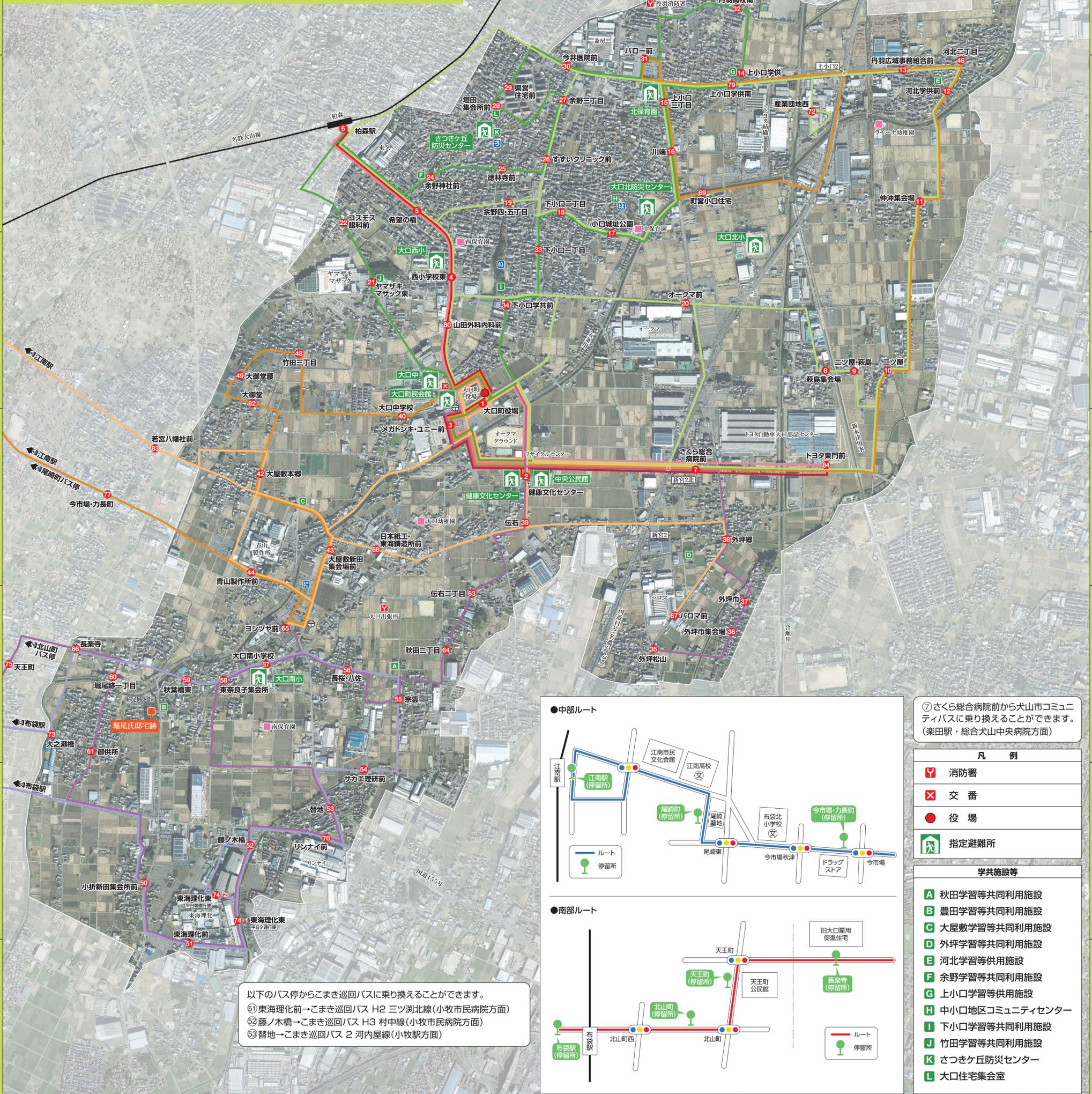
凡例

毎日運行便 (12/29~1/3は運休)

- 基幹ルート
- 中部ルート
- 北部ルート
- 南部ルート

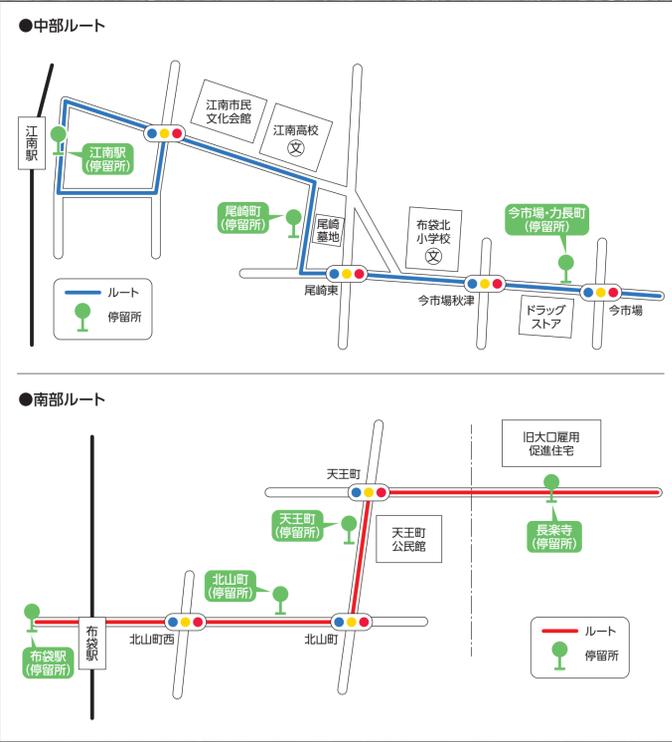
平日 朝・夕運行便 (土・日・祝日及び12/29~1/3は運休)

- 基幹ルート
- 中部ルート
- 北部ルート
- 南部ルート



以下のバス停からこまき巡回バスに乗り換えることができます。

- ① 東海理化前→こまき巡回バス H2 三ツ北線(小牧市民病院方面)
- ② 藤ノ木橋→こまき巡回バス H3 村中線(小牧市民病院方面)
- ③ 替地→こまき巡回バス 2 河内屋線(小牧駅方面)



⑦ さくら総合病院前から大山市コミュニティバスに乗り換えることができます。(案田駅・総合犬山中央病院方面)

凡例	
	消防署
	交番
	役場
	指定避難所
学共施設等	
A	秋田学習等共同利用施設
B	豊田学習等共同利用施設
C	大屋敷学習等共同利用施設
D	外坪学習等共同利用施設
E	河北学習等共用施設
F	余野学習等共同利用施設
G	上小口学習等共用施設
H	中小口地区コミュニティセンター
I	下小口学習等共同利用施設
J	竹田学習等共同利用施設
K	さつきヶ丘防災センター
L	大口住宅集会所

大口町文化財の紹介

- 1 仁所野遺跡**
北所野遺跡は、白山神社(下小口一丁目)の境内地であり、境内には7基の古墳が並び、白山古墳群と称され、昭和35年6月8日大口町指定文化財第1号となった。しかし、野外施設(白山ふれあいの森)の着工に伴い調査が行われ、その結果、弥生時代の墓群である方形周溝墓が発見され、弥生時代から古墳時代にかけての複合遺跡であることが確認された。よって昭和60年に仁所野遺跡として、改めて文化財の指定された。
- 2 徳林寺山門・中門**
山門は、大山城の第一黒門であったものを明治9年に当寺へ移築された。また、切妻瓦葺の山門は、文明7(1475)年9月小口城主織田近江に上建立されたといわれる。この中門と同寺の古方は、室町時代に造られた建造物として現在に伝えられている。
- 3 山柿(小口神社)小口城址公園**
老樹だが、樹勢は旺盛で毎年実を付け、多数の枝が斜めに垂れ下がって樹形は優美である。山柿は本州前半に自生するが、平野部でこれほどの大樹となっているものは珍しく、地元では、しめ縄を張り神木としてまつられている。
- 4 桜塚古墳**
長松寺の南方約200m、五条川にかかる桜橋の北東にある。直径約14m、高さ約2.5mの円墳で、古くから頂上に数本の桜の木があることから桜塚とよばれてきた。

島根県松江市と姉妹都市提携。

島根県松江市にある松江城を築城した堀尾吉晴公は大口町で生まれました。その松江城が平成27年7月8日に国宝に指定されたことを受け、8月29日に調印式が開かれ、大口町と松江市は姉妹都市となり、その後も緩やかな交流を図っています。

堀尾氏邸宅跡

八幡社境内は、のちの松江城主堀尾吉晴公の邸宅跡といわれている。堀尾氏は、鎌倉時代の終り頃御供所の地に移り住み尾張国守護斯波氏に仕え、戦国時代に織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の臣となり戦功をたて、浜松12万石より松江24万石を領したといわれている。現在は、八幡社境内にある塚の跡が居館があったことを偲ばせるのみである。

